

JL492BP エアーポールGTI 組立手順

このたびはエアーポールをお買い上げいただきありがとうございます。
組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

箱に入っているパーツを確認します。(3番、7番、8番は組まれています)

NO	品番	品名	数	税別価格/1個
1	JL434BP-MP	メインパイプ ホールトップ付	1	16,000 +税
2	JL4340-BP	サイドパイプ 先端パーツ付右	1	10,000 +税
2	JL4341-BP	サイドパイプ 先端パーツ付左	1	10,000 +税
3	JL443	ALジョイント-B	1	2,500 +税
4	JL492-1	GTI用サイドベース右	1	4,000 +税
5	JL492-2	GTI用サイドベース左	1	4,000 +税
6	JL449-50	連結ボウルベース溶接品	1	2,000 +税
7	P05-08	SUSスプリングワッシャーM8	2	10 +税
8	P01-8-25	SUSワラスナハ8-25	2	80 +税
9	P02-6-40	SUSワラス皿6-40	2	55 +税
10	P06-06	SUSワッシャーM6	2	6 +税
11	P15-06	SUSナイロンナットM6	2	62 +税
12	P02-8-30	SUSワラス皿8-30	2	75 +税
13	JL436-09	M8ワッシャー大 8.5x25x2t	6	50 +税
14	P15-08	SUSナイロンナットM8	2	100 +税
15	JL492-4	結束バンド PLT5-CO 黒 445mm	1	200 +税
16	JL454	ラパークッション(ホール、L=330mm)	2	600 +税
17	P17-10	ホルトM8-60 テンゾウナン(ピン)BY、ホール、F800	1	200 +税
18	6779	リングピン M30 SPRリング	1	30 +税

パイプに付いている交換パーツについてはお問合せください。

■使用する工具

◎スパナ10.13番もしくはモンキーレンチ
カッター、◎ドライバー
ドリル6.1φ、8.1 シリコン材

- 組立をする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。
各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

■ 組立手順

1. GTI用サイドベースの取付け(艇体と取っ手の間に挟み固定)

取っ手に付いているクーラントタンクを外します、取っ手とホースを固定している結束バンドを切ります。
取手を止めている4つのボルトを外し取手を取り外します、この時ナット、ワッシャーを下に落とさぬよう気をつけてください。
取っ手から黒い蛇腹パイプを取り外します。(2本)
取っ手を固定していた穴にサイドベースの両端の穴を合わせボルト&ナットで動かないように仮固定します。
※サイドベースは左右ありますので注意してください！ ヒッチ部分が下方向に向きます。
サイドベースを固定したらベース中央の穴にドリル(刃8.1ミリ)にて艇体に穴を開け、
皿ビスM8-30、大ワッシャーM8、ナイロンナットM8にて締めます。皿ビスを固定したら仮固定していた両端のボルト&ナットを外します。
取手に蛇腹パイプを取り付け、艇体にボルトで取手を取り付けてますが、この時裏側(ナット側)のワッシャーは付属の大ワッシャーを使用してください。
最後に結束バンドでホースを元のように固定しタンクと付けて完了です。

注)長時間エンジンをかけたまま横転してますと、取手の有無に関係なく艇体内に水が浸入する恐れがありますので
復元しましたら、すみやかに確認をし排水してください。

2. 連結ボウルベースの取付け

取り付け位置は後端のモール材とデッキマットの隙間部分で艇体の裏がへこんでボルトナットが締めれる位置になります。
注)この時ナットが締めれる位置が必ずデッキ裏側を確認してください、位置がズレていますとナットが締めれなくなります。
ドリル(刃6.1ミリ)で穴を明け、回りのバリを取り除きシリコンを付け、連結ボウルベースを上から皿ビス、
下からM6ワッシャー、M6ナイロンナットで締めます。

最後にサイドパイプにラパークッションを通しサイドベースのヒッチへサイドパイプのクイックヒッチカプラーをジョイントして
メインパイプの下の所はタンギンピンとSPRINGにて連結ボウルベースに取付して完成です。

注. ALジョイントの部分の+ナベビス頭が上側になる向きにサイドパイプを付けてください(ステッカー後向き)

PWC本体のメーカーによる艇体変更があった場合は取付できない場合があります。
装着等、不具合が生じた場合はお買い求めの販売店様へご連絡ください。

■使用上の注意

- ウエイクボード以外は絶対にトローイングしないでください、破損の原因になります。
 - トローイングをする前に必ずネジ、ボルト類の点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用しますと艇体等破損の原因になります。
 - トローイングをしない時は安全のため必ずエアーポール本体をはずして走行してください。
 - トローイング中は、複数名乗員し後方(ボーダー等)の安全を確認してご使用ください。
 - 艇体の肉厚が薄い艇は取付の際注意してください艇体にヒビが入る恐れがあります、その際は使用をやめてください。
- ※第三者へエアーポールの転売または譲る際は必ずこの取扱説明書、注意事項書等と一緒に添付してください。

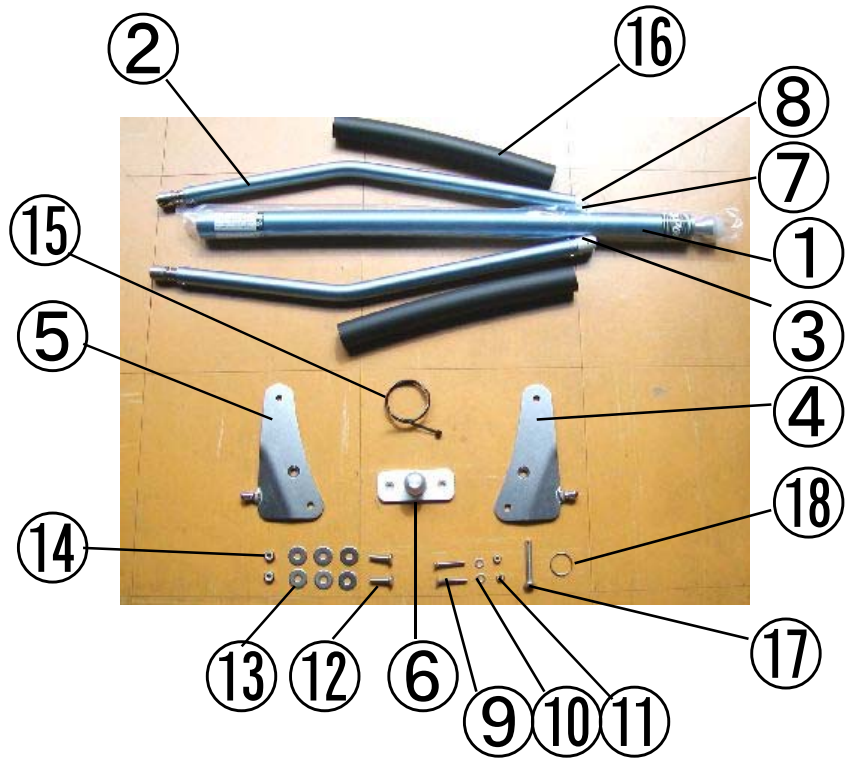
JL492BP GTI

ノアウトリーセロ



完成写真

●ウェイクボード以外は絶対にトローイングしないでください！破損の原因になります。
 その他使用上の注意をご確認ください。



GTI用サイドベースの取付



クーラントタンクを外します。



取っ手とホースを固定している結束バンドを切ります。



取っ手を外し、蛇腹を外します。



サイドベースを仮組します。



中央の穴にドリルで穴を開けます。



皿ビスにて固定し、両側のホルトを外します。



蛇腹を付け、取っ手を艇体へ取付け結束バンドとタンクを付けて完了

連結ホールベースの取付



取り付け位置は後端のモール材とデッキマットの隙間部分で艇体の裏がへこんでボルトナットが締められる位置になります。
 ドリル(刃6.1ミリ)で穴を明け、回りのバリを取り除きシリコンを付けビスで固定



注)この時ナットが締められる位置か必ずデッキ裏側を確認してください、位置がズレていますとナットが締められなくなります。

艇体取付パーツですので使用している間にネジ、ボルト等のゆるみが生じ、そのまま使用しますと艇体にヒビがはいりますので必ず点検し、ゆるんだ際は増し締めをしてください。

艇体の老化によりポール取付部にヒビ損傷等がでる場合がありますあらかじめご了承ください。

このポールではバナナボート、スキービスケツト、PWC等ウェイクボード以外は絶対にトーイングしないでください。艇体やポールが破損します。

- 万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 上記についてご不明の点、取付について不安な方はお買い求めの販売店までお問い合わせください。
(有)ファクトリーゼロ

AIR POLE シール取扱

横長の「AIR POLE」シールはサイドパイプにラバークッションを通した後に完成写真のようにお貼りください。

貼った後、1日間は使用しないでください、剥がれやすくなります。



取扱上の注意事項

ご使用前に必ず熟読しお守りください！ 取扱説明書、パーツ表等は大切に保管してください。



●バナナボート、ビスケット、ジェット等ウェイクボード以外は絶対にトーイングしないでください、破損の原因になります。



●艇体側各取付部にガタツキが生じた場合は即座にトーイングを中止しボルト、ナット等の増し締めをしてください、そのまま使用しますと破損の原因になります。



●トーイング中は、乗員定員内にて複数乗員しボーダー等後方の安全を確認してご使用ください。



●サイドパイプ式のラバークションはトーイング中、衝撃等でズれることがありますので必ずパイプ部を握ってください



●サイドパイプ式ではトーイング中クイックカブラーに触れないよう注意してください、万一カブラーが外れますと艇体が壊れる恐れがあります。

●トーイングをする前に必ずネジ、ボルト類の点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用しますと艇体等破損の原因になります。またパイプ取り付け部のピンやカブラーが(半がかりでなく)正しくしっかり装着されているか確認してください。

- 艇体に取付し試走後、必ず各部ネジ、ボルト類を確認をしてください。
- トーイングをしない時は安全のため必ずエアープール本体をはずして走行してください。
- ポール脱着後は艇体側各取付凸部にご注意ください。
- メインパイプやヒッチポールベース等にジェットランチャー等のランチングフック、ロープ等は絶対にかけないでください。
- ケガ等防止のためドライバー、ボーダー等、乗船時は必ずライフジャケット、グローブ&ブーツを着用の上ご使用ください。
- プレート式ではメインポールを外している時、絶対にベースに手をかけないでください、曲がる場合があります。
- ポールの装着、未装着にかかわらず艇が転倒した際は水が艇内に浸入します、すみやかにメーカー指示通りに艇を復元し帰港してください。
- ご使用後は各部真水で洗い、よく拭いてから保管してください。
- 定期的にエアープールの各部が磨耗していないか等を確認して、磨耗していた時はすみやかに部品を交換してください、そのまま使用しますと事故、破損等の原因になります。
- 万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

取扱注意事項

ご使用になる艇本体の取扱説明書を熟読し更に下記事項をご確認ください。
ご使用になるウェイクボードの取扱説明書を熟読してください。

**トローイングをしない時は必ずPWC本体から
エアポールは外してください。
(装着したままでの走行は危険ですのでお止めください)**



<エアポール使用前>

- トローイングを始める前に艇本体の取扱説明書を熟読しウェットスーツ等を着用してください。
- ライフジャケットは体にフィットしたものを着用しベルト等はすき間なくしっかり締めてください。
- エアポールを装着する際は本体、各部のネジ等緩みがないか点検してください。
- バナナボート等ウェイクボード以外のトローイングは絶対しないでください、破損の原因となります。
- 荒天時のトローイングは危険ですので止めてください。
- 飲酒での使用は止めてください。
- ヘルメットの着用については艇本体の取扱説明書をご確認ください。
- メインパイプやヒッチポールベース等にジェットランチャー等のランチングフック、ロープ等は絶対につけないでください。
- 定期的にエアポールの各部が磨耗していないか等を確認して、磨耗していた時はすみやかに部品を交換してください。そのまま使用しますと事故、破損等の原因になります。
- パイプ取り付け部のピンやカップラーが(半がかりでなく)正しくしっかり装着されているか確認してください。

<トローイングをする水域までの行き帰り>

- 最後部座席の方はなるべく前寄りに座りエアポールとの距離をとってください。
- エアポール(サイドパイプ)の上に腰掛けたり背もたれのようにすることは絶対しないでください。
- エアポールに体を近づけると転倒時ウェットスーツやライフジャケットにからむ恐れがあり大変危険です。
- トローイングをする水域までの行き帰りの走行は時速30-40kmにて走行してください。
- 急旋回、急加速は厳禁です。

<トローイング中>

- メインポールに顔を近づけないでください大変危険です。
- エアポール(サイドパイプ)の上に腰掛けることは絶対しないでください大変危険です。
- 後部シート見張り役の方はしっかりと艇体のグラブを握ってください、エアポールはつかまさないでください。
- 使用中やむなく転倒する場合、特に後部座席者はポールに当たる恐れがありますのでポールに当たらずよう意識し注意して落水してください。
- 使用は海岸、浅瀬、岩場は避け、また他艇のいない広々とした安全な水域でご使用ください。
- 波やウネリのある水域での使用は止めてください。
- 急旋回、急加速は厳禁です。
- ※裏面「エアポール装着時の操船について」もご確認ください。
- 使用中誤って艇が転倒した際は水が艇内に浸入します、すみやかにメーカー指示通りに艇を復元し帰港してください。

<トローイングの後>

- 着岸後エアポールを艇体から外し水洗いして乾かし保管してください。
- その際ピン類をなくさないよう気を付けてください。
- ポール脱着後は艇体側各取付凸部にご注意ください。
- プレート式ではメインポールを外している時、絶対にベースに手をかけないでください、曲がる場合があります。

※万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
※不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。
※第三者へエアポールの転売または譲る際は必ずこの取扱注意事項書等も一緒に添付してください。



●エアポールに体を近づけると転倒時ウェットスーツやライフジャケットにからむ恐れがあり大変危険です。



●メインポールに顔を近づけないでください大変危険です。



●最後部座席の方はなるべく前寄りに座りエアポールとの距離をとってください。



●エアポール(サイドパイプ)の上に腰掛けたり背もたれのようにすることは絶対しないでください。



●後部シート見張り役の方はしっかりと本体グラブを握ってください、エアポールはつかまないでください。



エアポール装着時の操船について

①エアポールを使用してトローイングした場合、通常の操船時に比べ艇体バランス(艇後部の沈み込み等)が違います。最初はあまり速度を出さず直線でのトローイングを行い操船感覚に慣れてください。



②次に少しずつウェイクボーダーがターン(艇体の脇に出る)をする際の艇体バランス(艇が傾き横に引っ張られる等)の感覚に慣れてください。そしてボーダーがターンをする時に艇が傾かないように当て舵(ハンドル)をしてバランスを保つ練習をしてください。



③転倒したボーダーに近づく際は十分に速度を落として近づくようにしてください。



- スタート時ボーダーが水中からスムーズに浮いてこない場合はPWCは一度加速を止め、ボーダーはすぐにハンドルを放し、再度初めからやり直してください。長い間水中の状態が続けると怪我、破損の恐れがあります。
- スタートがスムーズに行えない方はスクール等で練習をしてからエアポールをご使用ください。

※エンジン始動中に絶対にトローイングロープの上を走り抜けしないでください船底にある給水口にロープが吸われエンジン停止の原因になり大変危険です。

●トローイングが終わり乗船する際はデッキ後方より自分の体の重心が艇体の中心にくるように意識して乗り込んでください。(左右どちらかに寄ると艇が傾き危険です)



①



②



③



④

<トローイングロープの付け方>



ループの中に根元の部分を入れます。



根元の部分にできた新たなループをポールトップに引っ掛けしぼって完了です。